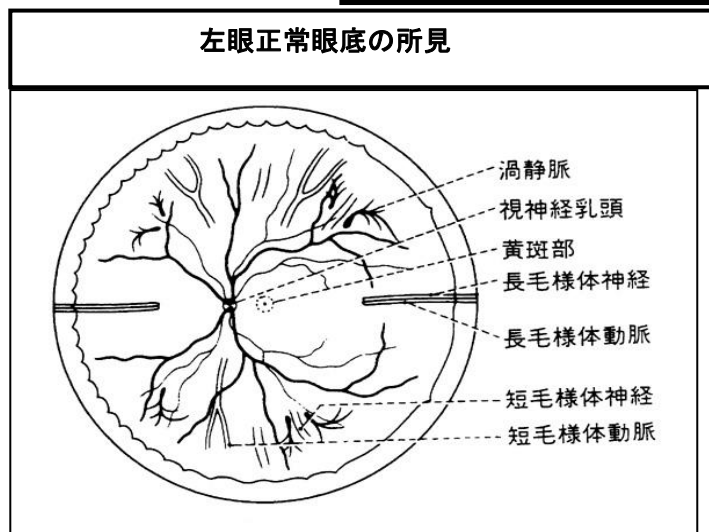


出田秀尚:眼科検査法ハンドブック3版 P307 図 10、P308 図 11



左眼正常眼底の所見

前眼部の病変把握

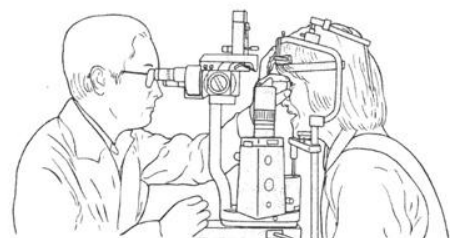
眼底全体の病変部位の把握

眼底の微細な病変部位の観察

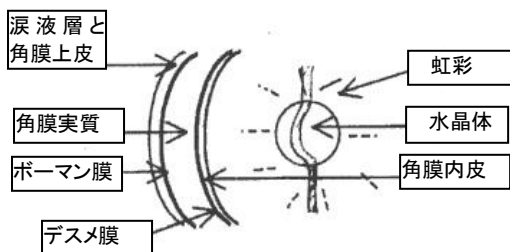
適する病変部位

細隙灯顕微鏡検査

細隙灯顕微鏡検査による前眼部・中間透光体検査



渡邊郁緒・新美勝彦:イラスト眼科7版 P113



単眼倒像鏡による方法

光源からの光を被検者の瞳孔内に入れ、眼底から反射してきた光を+20Dあるいは+14Dなどの凸(集光)レンズを眼の前方に結像させ、眼底の倒像実像を観察する方法



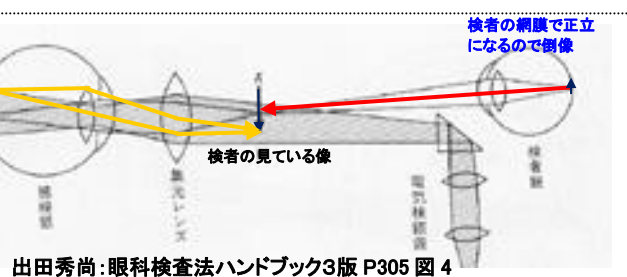
渡邊郁緒・新美勝彦:イラスト眼科7版 P117 図1

双眼倒像鏡による方法

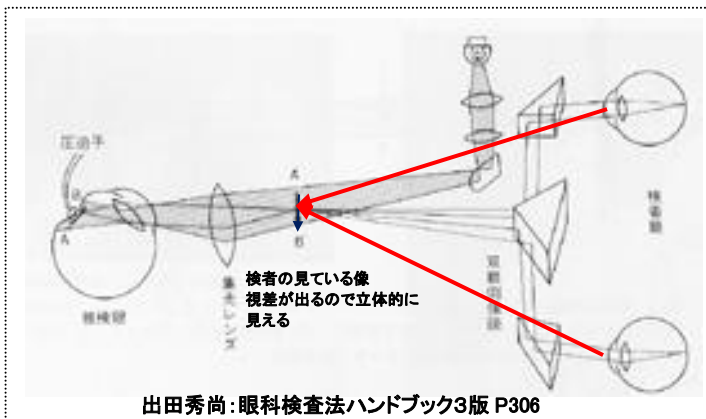
光源からの光を被検者の瞳孔内に入れ、眼底から反射してきた光を+20Dあるいは+28Dなどのいくつかの集光レンズで眼の前方に結像させ、検者の両眼の視線を鏡で反射させた双眼鏡にて両眼で眼底の倒像を立体的に観察する方法(ブライツコープに取り付ける型もある)



所敬・金井淳編:現代の眼科学8版 P188 図 8-5



出田秀尚:眼科検査法ハンドブック3版 P305 図 4



出田秀尚:眼科検査法ハンドブック3版 P306

直像鏡による方法

光源を内蔵する電気直像検眼鏡で被検者の瞳孔内に光を入れる方法で、被検者眼の屈折力約60Dで眼底を拡大し、約15倍の正立虚像を観察する方法(眼底像の位置は検者の遠点にある)

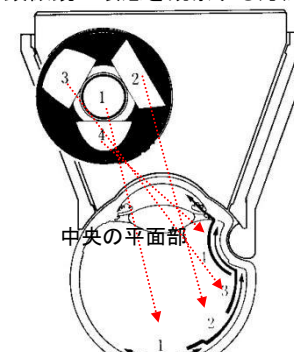


渡邊郁緒・新美勝彦:イラスト眼科7版 P117 図1

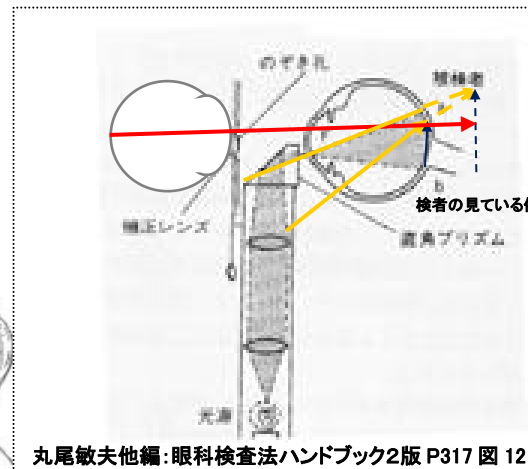
理論上、検者・被検者の両者が正視眼であれば、どちらも眼外では平行光線となるので、互いに共役関係となり、両者の網膜面に結像する

細隙灯顕微鏡による方法

Goldmann 三面鏡・後極部用、前置レンズ(非接触型+60・72・90D)を用いて、細隙灯顕微鏡で眼底を観察する方法



眼球にのせた時の、観察可能な眼底の領域
渡邊郁緒・新美勝彦:イラスト眼科7版 P113 図 2・図 3



丸尾敏夫他編:眼科検査法ハンドブック2版 P317 図 12

Goldmann 後極部用
コンタクトレンズ

前置レンズ
(非接触型凸レンズ
+60・72・90D)

広角倒像型レンズ

Goldmann 三面鏡
(圧入子式)

内蔵された鏡を回転させて
周辺を観察する

中央の
平面部

赤道部鏡
周辺部鏡

細かい血管病変

視神経乳頭の
病変

神経線維層
の検査

無赤色光
眼底検査

黄斑部病変

SLOへ

赤道部から周辺
部の病変

体位変換に
よる眼底検査